

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校第2			
○保護者評価実施期間	2025年11月24日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数)	50
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者様に寄り添った支援ができる事業所。	・最大限、利用者様のニーズに沿った支援の計画と実施 ・家族支援では実際に担当する指導員が対応することで保護者様の安心感と信頼感の共有。 ・療育目的を明確にしたイベントの開催 ・SNSやブログの積極的な発信により、専門的情報や楽しい情報を共有することで、利用者様の関心を得ている。	・「工夫していることや意識的に行っている取組等」を継続し続けることで、より信頼感の定着につなげる。 ・利用者様についての情報共有をさらに徹底し、全職員が同じ目線・同じレベルで対応出来る体制づくり。特に繊細な利用者様の対応に向けての共有。
2	送迎業務により、自己通所が難しい方にもご利用いただくことが出来る。特に学校/幼稚園との連携を強化し、要望に沿った送迎計画を立案する事が出来る。	時間に余裕を持った行動の実践	送迎方面の集約により、多くの方が送迎車両を利用する事が出来る取り組み
3	他に完全個別療育事業所が無い地域柄、ピンポイントでの問い合わせが多く、個々のニーズに深く対応する事が出来る。	地域の関係機関との関係構築を行い、療育に生かすことが出来ている。	完全オーダーメイド療育の更なる構築と、他施設との差別化の強化

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用者様に寄り添うことによって、逆に保護者からのニーズとのズレが起きることがある。	・保護者様の理想との若干の差が起きる時がある	・まずは利用者様に寄り添う事が重要になるので、保護者様のご意見を聞きながら、事業所の方針や支援の意図を明確に示す。
2	施設構造が個別療育対応に向けているため、手狭さが否めない。	開所時(2018年)の法基準によるもの	レイアウト変更等により、小集団イベントにも対応できるよう対応してる。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校第2

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 52

回収数 50

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	47	2		1	・個別なので困ることがない ・整理されて良い環境 ・運動施設ではないので充分	利用者様ひとりひとりに不自由をお掛けしない配慮を続けます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	48	2			・基準を満たしている	この状態を継続して参ります
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	44	4		2	・きれいだと思う	階段での事故防止の高い安全柵設置など、出来る安全策を講じております
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	45	5			・ハンカチを忘れた際にペーパータオルを用意けるとありがたい ・清潔で落ち着いている	落ち着いて教育を受けて頂ける環境に配慮する事を続けます
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	50				・説明していただける事で、より専門性のある支援を受けることが出来るので、これからもお願いしたい。 ・どの先生も優しく感謝している	この状態を継続して参ります
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	50				・合っている	この状態を継続して参ります
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	50				・管理者にお話したことがニーズに沿って支援してもらえている ・希望どおりで感謝している	この状態を継続して参ります
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	47	1		2	・適切に設定と説明がされている	きめ細やかなコミュニケーションに配慮する事を今後も継続致します
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	50				・共有されている ・希望どおりである	きめ細やかなコミュニケーションに配慮する事を今後も継続致します
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	50				・しっかりこどもを見てそれに応じた支援をしている ・学習以外にも色々な活動があり工夫されている	全職員での情報共有を密にし、今後も一貫した療育を提供させて頂くよう努力いたします
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	37		8	5	・児童会館との交流は分からない	個別療育のため保護者会等はありませんが、気軽な座談会等も不定期に開催しておりますので多くのご参加をお待ちしております
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	49			1	・丁寧な説明があった	この状態を継続して参ります
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	49			1	・丁寧に説明されている	今後もより効率的な情報伝達を行って参ります
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	46	4			・自分たちには必要ないと思っていたが、今後はペアレントトレーニングの機会があれば参加したい ・研修会はないが日頃から丁寧に支えられている	しっかりとした共有を継続して参ります
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	49	1			・連絡帳などで丁寧に説明されている	個人情報保護について今後も万全を期して参ります
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	50				・定期例に児発管との面談を行なっている	きめ細やかなコミュニケーションに配慮する事を今後も継続致します
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	50				・皆さん優しく環境が良い	全職員での情報共有を密にし、今後も一貫した療育を提供させて頂くよう努力いたします
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	37		7	6	・参加したことがない ・児発管との面談でも、きょうだいの話まで聞いてもらうことができる。	個別療育のため保護者会等はありませんが、気軽な座談会等も不定期に開催しておりますので多くのご参加をお待ちしております

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	48			2	・迅速かつ適切です	この状態を継続して参ります
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	50				・されていると思います	今後もより効率的な情報伝達を行って参ります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	50				・発信されています	この状態を継続して参ります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	46			6	・されていると思います	個人情報保護について今後も万全を期して参ります
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	46			4	・説明されている	この状態を継続して参ります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	44	1		5	・実施されていると感じた	適宜、参加していただけるよう配慮致します
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	49			1	・しっかりしてる	今後も十分に配慮した環境を保つ体制を確保致します
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	50				・普段の何気ない会話などから支援してもらっている ・予定変更やごちらの希望を聞いて頂いている	万が一の際は、迅速に最善策を実施致します
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	50				・帰ってくると今日の出来事を教えてくれる ・早くから心を聞いているので、安心感を持っていると思います	この状態を継続して参ります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	49	1			・いつも楽しみにしている ・優しく、頼りにしている ・本人は勉強の場と感じている	通所の度にひとつでも喜びを感じて頂けるよう療育に当たります
	29	事業所の支援に満足していますか。	50				・クラゼミは強い味方である ・とても感謝しています ・少しずつ成長しています、支援のお陰です	全ての利用者様に満足して頂ける事業所づくりに邁進いたします

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校第2		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・レイアウト変更等	・少々手狭な部分があり、教材の配置に改善の余地あり
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・公休の複数職員の重複を出来るだけ防ぐ	・運営や加算の面から都合をつけている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・最低限、事業所内でのバリアフリーを維持	・建物の構造上、バリアフリーは難しい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・清掃や整備を徹底している	・老朽化に伴う備品等の更新が必要な時期のものもある
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個室が完備されている	・個室のため目を醒すことが無いよう配慮が必要
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○	・日常的な情報共有の確立	・見える形でのPDCAサイクルはないため、定期的な上長面談の必要を感じる ・イベントも振り返りがしっかりとできると良い
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・例年実施し、HPIに公表	・100%の提出率になるように対策
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・運営会議、職員面談、1on1の実施	・面談の全職員の実施均等化
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・実施していない	・地域へ広く公開する事の必要性
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修制度が確保されている	・業務の関係で研修への完全参加にならない事の改善
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HPIに公表、行政への申請	・規定通り実施している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・報連相の充実、利用者様の情報を常にできる環境づくり	・保護者様の話を聞く機会や職員間の情報共有を充実させることでさらに良い計画が作成できる
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・毎月1～2回の会議実施により全職員で共有している	・個別支援計画等、本来の作り方などを再確認して統一する必要性。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・実施している	・支援の引き継ぎを更に綿密に行う必要性。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・確認している	・今後も継続
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・設定されている	・今後も継続
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・実施している	・今後も継続

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○	・固定しないよう配慮しているが、継続の必要性から「固定化」に取られる可能性がある	・支援計画についても、支援目標・内容については、適宜変更の必要性。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・集団療育は毎月のイベントが中心となっている	・小集団の実施について、毎回の話し合いの必要性がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・声掛けとPCでの共有の確立	・情報共有について改善が進んでいる
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・終業時の時間的余裕を心がける	・毎日必ずではないため、引き継ぎについては積極的に行う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・徹底している	・今後も継続
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・実施している	・今後も継続
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・徹底している	・今後も継続
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・徹底している	・自己決定として全てを受容するのではなく、職員間で共有した線引きが必要。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・徹底している	・今後も継続
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	・学校、他デイ様との連携実施	今後も継続
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		実施している	・今後も継続
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・定期的かつ継続的な関係作り	・気になる様子がある際にはこちらから保護者様へ情報共有
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・こども部会など外部との対話機会に参加する	・地域とのつながりを持ったり、関係機関とのつながりを持つ
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・センター様との連携は実践している	・研修機会を多くする必要がある
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・件数は少ないが実践している	・今後は強化する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	・外部機関との連携強化	・現状、できていない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・面談、電話等での情報共有の徹底	・更に強化をしてゆく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・全員ではないが実施	・完全実施を目指す必要あり
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・完全実施している	・今後も継続
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・完全実施している	・今後も継続
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・完全実施している	・今後も継続

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・出来るだけタイムリーに対応している	・送迎利用者様多いため、対面が難しいところがあるが、今後は更に徹底
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	・コロナ禍前のようにイベントへの保護者参加を推進する	・個別対応、送迎業務があるため保護者向けのコミュニティを作ることが難しいと思われてきたが、今後は保護者間での情報共有システムを構築してゆきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・対応している	・今後も継続
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・HP、LINE、Instagramを活用している	・今後も継続
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・特に配慮している	・今後も継続
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・特に配慮している	・今後も継続
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・既利用者に限らず、周辺住民や関係機関との関係性の構築	・イベント等の積極的な開催で地域に根差した運営を行なうのも良いのではと考える
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・実施している	・今後も継続
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・実施している	・今後も継続
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	・現在はイベント時にアレルギーアンケートを実施 ・フェイスシートに記載	・細部にわたり確認し、新規利用者は特に注意 ・マニュアルは研修の度に確認と差し替え
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・未実施	・医師の指示書があった例はない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・実施している	・今後も継続
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・周知している	・今後も継続
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・実施している	・今後も継続
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・対応している	・今後も継続
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・記載している	・今後も継続